

北アルプス 餓鬼岳～燕岳縦走報告書

日程：2021年9月18日夜（土）～20日（月）

行程：

9/18(土) 木津出発 18:30⇒安曇野 IC11:50⇒穂高駅近くの駐車場（穂高駐車場）01:30

9/19(日) JR 穂高 06:30⇒信濃常盤（タクシー）06:52⇒白沢登山口 07:15⇒魚止の滝
9:00⇒最終水場 09:30⇒大風山 11:50/12:25⇒ 餓鬼岳小屋泊（餓鬼岳ピストン）15:50

9/20(月) 餓鬼岳小屋 04:45⇒東沢岳 08:30⇒ 東沢乗越 09:15⇒ 燕岳 12:10⇒燕山荘
12:40/13:25 ⇒ 合戦小屋 14:15⇒中房温泉（バス又はタクシー）バス停 16:10
⇒穂高駅（車）奈良

参加者：M川、H川、Y尾（記録者）

19日夜出発の予定だった。台風接近、それに伴う徒渉の際の増水も懸念され、予定の唐沢岳を外して1日遅れの出発となった。

小雨というか霧雨の中、一路JR穂高駅に向かって走った。19日の深夜1時頃、駅近く穂高神社の近くにある登山者用無料駐車場に到着。すでにたくさんの車が止まっていた。車中泊。

19日朝穂高駅6時30分発の電車に乗り、信濃常盤で下車。予約のタクシーに乗り込む。白沢登山口で登山届を提出。昨晚から登ったのか、まだ薄暗い時間に行動を開始したのか、多くの車が止まっていた。静かな白沢登山口、台風一過の晴天に迎えられ、気持ちのいい道を進む。餓鬼岳掲示板というか、メッセージカードを読みながら、1枚1枚写真を撮り登って行った。

タクシーの運転手さんの話では、雨は少し降っていた。しかし台風だからと驚くほどの雨ではなかったようだ。

徒渉の際の増水が気になる。その為Mはロープをザックに、そして、私達はそれなりの装備を準備していた。今年8月同じコースを登った投稿者の記事を読んだ。徒渉の際の増水で、石を投げ入れ足場を作ったらしい。今回は、台風通過のため、濡れる覚悟はしていた。3回程の徒渉だったが、心配無用だった。水の勢いはあったが、無事渡ることができた。魚止の滝を通過。濡れた梯子、橋、岩、足元に十分気を付ければ無難に歩けた。勢いは半端ではない涼しげなナメを見て、真夏なら沢登も楽しいだろう。

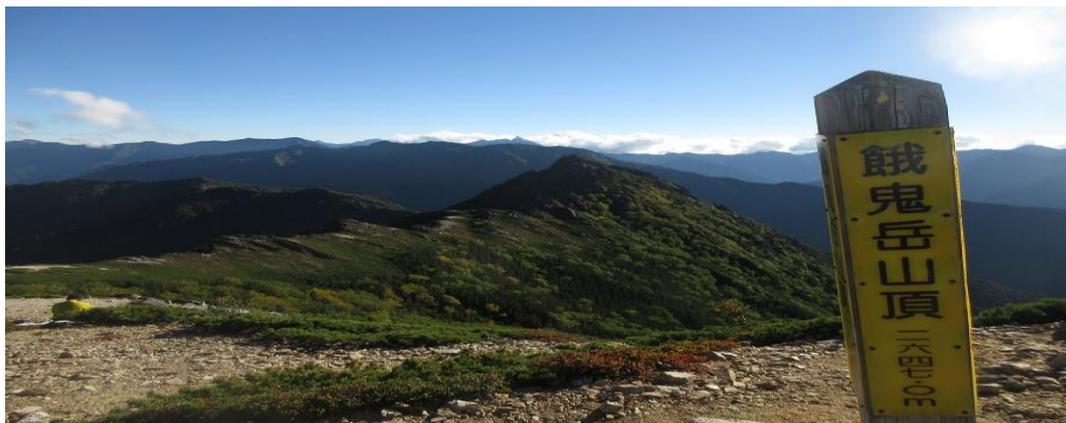
最終水場に到着。冷たい山の水で喉を潤し、Yは10の水を入れ、歩き始めた。勿論その前にも少しは持っていた。明日のこと考え追加。水の重さがずっしり、こたえた。歩けない。自力では無理と判断、2本のストックを出し、ストックに頼った。約2時間重さに耐えながら頑張った。大風山での昼食タイム。カップラーメン、珈琲の湯を沸かす。空になった仲間のボトルにYの10を移動。背中が軽くなった。あたりに目を向ける余裕ができた。高山植物の盛りは完全に過ぎてはいたが、枝に赤い小さな花“まゆみ”という花が可憐だった。

白ひげ草、大文字草等が目に入ってきた。ブルーベリーをつまんで、口に入れた。すっぱかった。

樹林帯を抜ける。振り返ると南アルプスの山々がくっきり見えた。富士山も、うっすら姿を見せてくれた。下界は夜の明かりで美しいだろう、町並みが目に飛び込んできた。

百曲がりに登りきると餓鬼岳小屋に到着。片道 5 分のピークに向かった。真っ青な空、ゆっくりと流れる雲。360度の展望。釣り竿がしなっていた。数本の釣り糸がハイマツに伸びていた。交信の声を耳にしなかったら、なんだろう？と首をかしげるところだった。槍見えますか？（撮れてます）

山頂でゆったりした時間を過ごし小屋へ。



密を避けるため、食事は2交代制。私達が食事しているとき、天井からものが落ちた。けが人はいなかった。あれは何？地震だった。それから3、4回地震があった。隣でお休みの男性が、燕のあたりで落石があったようだと教えてくれた。え！私達が下山するコースだ、と思った。が、別に気を留めることなく就寝した。彼曰く、山より下界の方が、もっと揺れてるはずだって。

20日 4時10分に電気が付き、一斉に寝具の片付け。ぼやぼやしてられない。

外は、好天が期待できるほどの星空。4時45分出発。剣ズリの途中でご来光に酔いしれる。

朝からのアップダウンはきつい。振り返ると恐ろしい岩場を越えてきたことがわかる。東沢岳に着く。東沢乗越からは、随分進んだ紅葉が、太陽の光で輝いて見えた。とても美し

い山肌を眺めると山の厳しさも和らぐ。

燕岳に向かう途中、若者 2 人が北燕岳にかけていった。若いっていいな、とつくづく思った。コマクサ栽培試験地のロープで歩行場所が指定され、散策気分で歩けるような場所だ。しかし、疲れた足はなかなか前へ出ない。進めない。燕岳に到着。30 年ほど前に登った記憶をたどりながら歩く。めがね岩、モンキー岩（私にはそう見えた）、イルカ岩の奇岩をカメラにおさめて、山荘への階段を上った。

13 時 25 分山荘を出発。中房温泉からのバスが 15 時 45 分。間に合うか？コースタイムは 2 時間 50 分。いやギリギリかも。でも無理かもしれない。でも急ごう、ということで、わき目もふらず、ただ足元に注意、Y はほとんど小走り。合戦小屋での休憩もなく急いだ。どう考えても無理だとわかった。第一ベンチで待っていた M のところまで頑張った。つらかった。すでに無理だった。しかし、M から嬉しい勘違いを耳にした。バスの発車時間 16 時 15 分。じゃ行ける。頑張った。16 時 10 分中房温泉バス停に到着。

終わってみれば、晴天に恵まれ、楽しい山行だった。途中もう年齢的に無理と思った。でもまた行きたくなった。それ程山には魅せられるものがたくさんある。

